

③福音再考シリーズ - ヨハネの福音書

イントロダクション | イエスの友情

今日の聖書は私たちと神との関係がどのように深められていくのかを語っています。神と私たちとの関係は、第1に、ぶどうの木が実を結ぶようないのちのつながりです。第2に、神と私たちは友人として信頼と愛情によって結びつけられた人格的な関係です。さらにイエスとの友情は愛の連鎖を生み出して、新しいライフスタイルとコミュニティを建て上げるのです。

聖書 | ヨハネ福音書 15章 1-17節

15:1 わたしはまことのぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。2 わたしの枝で実を結ばないものはみな、父がそれを取り除き、実を結ぶものはみな、もっと多く実を結ぶために、刈り込みをなさいます。3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、もうきよいのです。4 わたしにとどまりなさい。わたしも、あなたがたの中にとどまります。枝がぶどうの木についていなければ、枝だけでは実を結ぶことができません。同様にあなたがたも、わたしにとどまっていなければ、実を結ぶことはできません。5 わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です。人がわたしにとどまり、わたしもその人の中にとどまっているなら、そういう人は多くの実を結びます。わたしを離れては、あなたがたは何もすることができないからです。6 だれでも、もしわたしにとどまっていなければ、枝のように投げ捨てられて、枯れます。人々はそれを寄せ集めて火に投げ込むので、それは燃えてしまいます。7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます。8 あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。9 父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。10 もし、あなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたはわたしの愛にとどまるのです。それは、わたしがわたしの父の戒めを守って、わたしの父の愛の中にとどまっているのと同じです。11 わたしがこれらのことをあなたがたに話したのは、わたしの喜びがあなたがたのうちにあり、あなたがたの喜びが満たされるためです。12 わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互いに愛し合うこと、これがわたしの戒めです。13 人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。14 わたしがあなたがたに命じることをあなたがたが行うなら、あなたがたはわたしの友です。15 わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。16 あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。17 あなたがたが互いに愛し合うこと、これが、わたしのあなたがたに与える戒めです。

考えましょう |

- 1: (1節) イエスのご自分と弟子たちとの関係をぶどうの木にたとえました。イエスと弟子たちはどのような関係にありますか？現在あなたはイエスとどのような関係にありますか？(参考 イザヤ書 27:2-4)
- 2: (2-7節) イエスのもとにとどまるとはどのようなことでしょうか？イエスは実を結ばない枝についても語っています。イエスとの関係において実を結ばない枝とはどのような状態にあるのでしょうか？
- 3: (12-14節) さらにイエスは弟子たちとの関係を友情にたとえています。これによってイエスは、私たちがどのような関係の中に生きることを勧めているのでしょうか？
- 4: 聖書ではイエスが弟子たちとの関係を友情と言いつつだけでなく、アブラハムやモーセも神の友と呼ばれています。イエスは友情関係を作り保つためにどうしますか？それはなぜでしょうか？(参考 ヤコブ 2:23、出エジプト 33:11)
- 5: (9-11節) イエスのもとにとどまるために、どうするようにならなければならないでしょうか？そうすることを妨げる理由は何でしょうか？
- 6: (15-16節) イエスは弟子たちを選び、もはやしもべとは呼びません。これによって強調されていることはどのようなことでしょうか？イエスの友情を受け取るために私たちはどうしたらよいのでしょうか？

読みましょう |

イザヤ書 27 章 2-4 節

27:2 その日、麗しいぶどう畑、これについて歌え。 3 わたし、主は、それを見守る者。絶えずこれに水を注ぎ、だれも、それをそこなわないように、夜も昼もこれを見守っている。 4 わたしはもう怒らない。もしも、いばらとおどろが、わたしと戦えば、わたしはそれを踏みつぶし、それをみな焼き払う。

ヤコブ書 2 章 23 節

2:23 そして、「アブラハムは神を信じ、その信仰が彼の義とみなされた」という聖書のことばが実現し、彼は神の友と呼ばれたのです。

出エジプト記 33 章 11 節

33:11 主は、人が自分の友と語るように、顔と顔とを合わせてモーセに語られた。モーセが宿営に帰ると、彼の従者でヌンの子ヨシュアという若者が幕屋を離れないでいた。

祈りましょう |

- ・イエスをご自分の命さえ犠牲にして愛を示して私たちと一つになってくださり、悔い改めて信じる者たちを友人としてくださることを感謝しましょう。神との関係は、私たちが考える以上にはるかに豊かな永遠の人格的な関係です。イエスによる神との豊かな恵みの関係を喜びましょう！
- ・イエスの友情を受け入れるために、へりくだって罪を悔い改めましょう。キリストの恵みの福音は喜んで悔い改め、イエスの友情と選びを感謝して受け入れると、私たちの人生の力となります。

今週～来週のイベント

常総市水害支援ボランティア (21-23)、ランチタイムミーティング (大手町 24、丸の内 30)、礼拝会場@日本橋浜町 F タワー (27)、グレースシティゴスペル (28)、お弁当プロジェクト (10/3)、礼拝会場@KDDI ホール (4)